

# 郡山モデルの紹介

2011年11月14日

環境省「びんリユース推進シンポジウム」

郡山市容器リユース推進協議会 座長

福島大学 経済経営学類 准教授

沼田 大輔

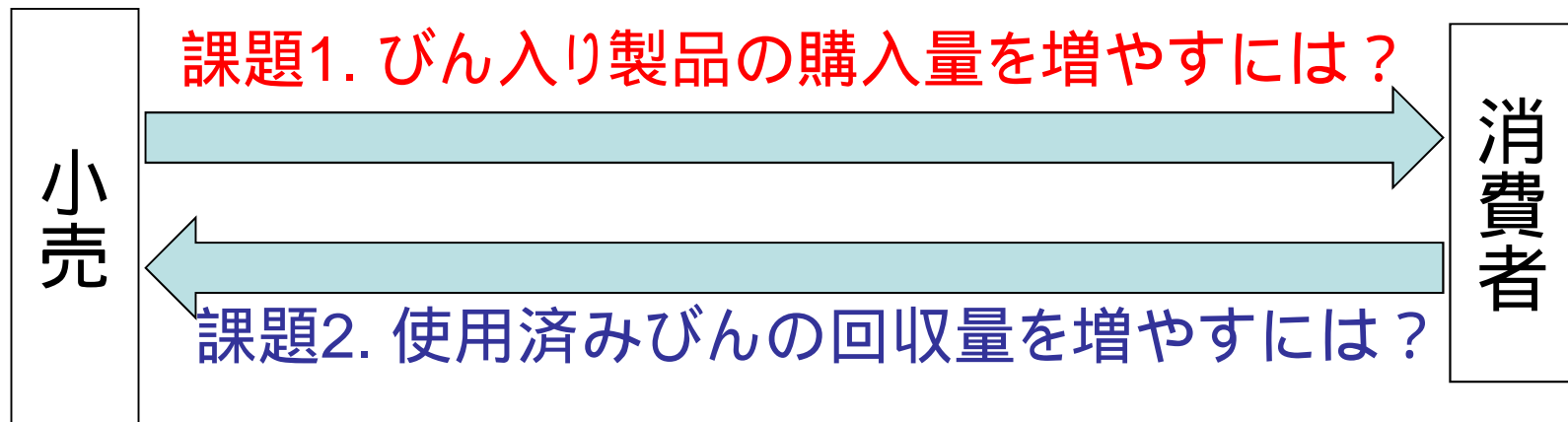
## 1.1. リユースへの模索の動き

- 現在、リサイクルが主流
  - 飲料容器もリサイクルが主流
- 一方、環境負荷の観点では、
  - リサイクルよりもリユースが望ましいことあり
  - リユース・・・洗って再度使う(例: 充填すること)
  - リサイクル・・・粉々等にしたものを使って作ること
- リユースの代表例は、びん
- しかし、びんの使用量は減少傾向  
洗う量も減少傾向

## 1.2. びんリユースに向かうための課題

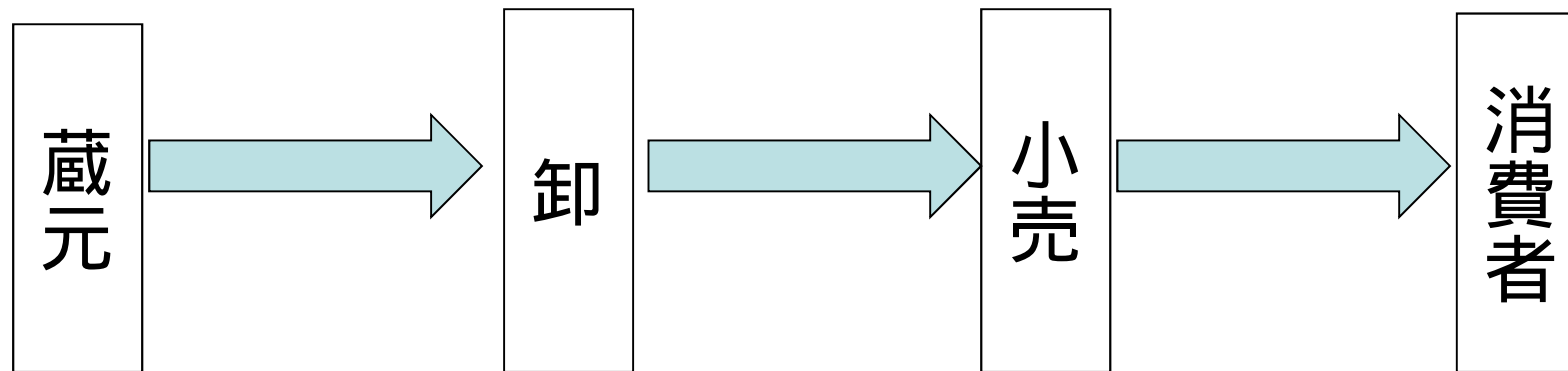
課題1. びんの使用量(びん入り製品の購入量)を増やすにはどうしたらよいか？

課題2. 洗うびんの量(使用済みびんの回収量)を増やすにはどうしたらよいか？



## 1.3. 課題1. びん入り製品の購入量を増やすには？

### < 動脈側 >



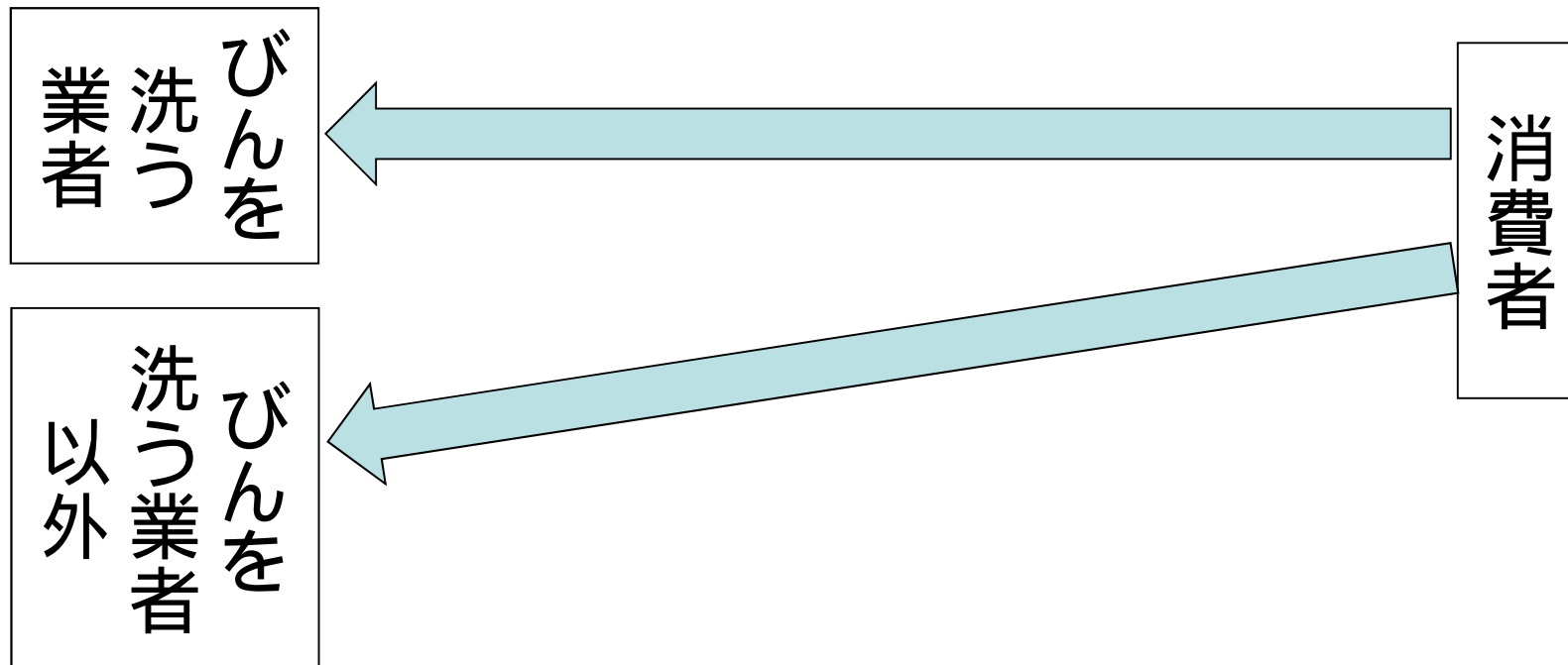
少なくとも、

消費者が、びん入り製品を購入する必要あり

蔵元が、びん入り製品を製造する必要あり

## 1.4. 課題2. 使用済みびんの回収量を増やすには どうしたらよいか？

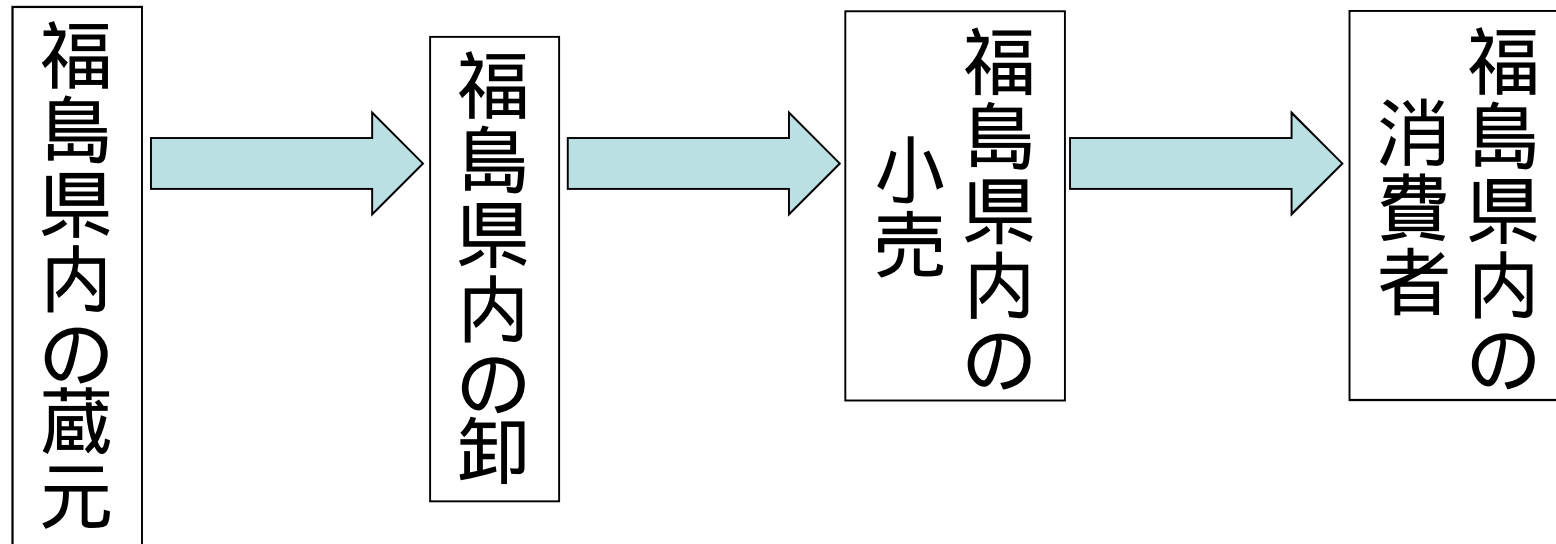
### < 静脈側 >



少なくとも、  
消費者が、びんを洗う業者のルート( )に、  
使用済みびんを持っていく必要あり

## 2.1. 福島県の動脈側

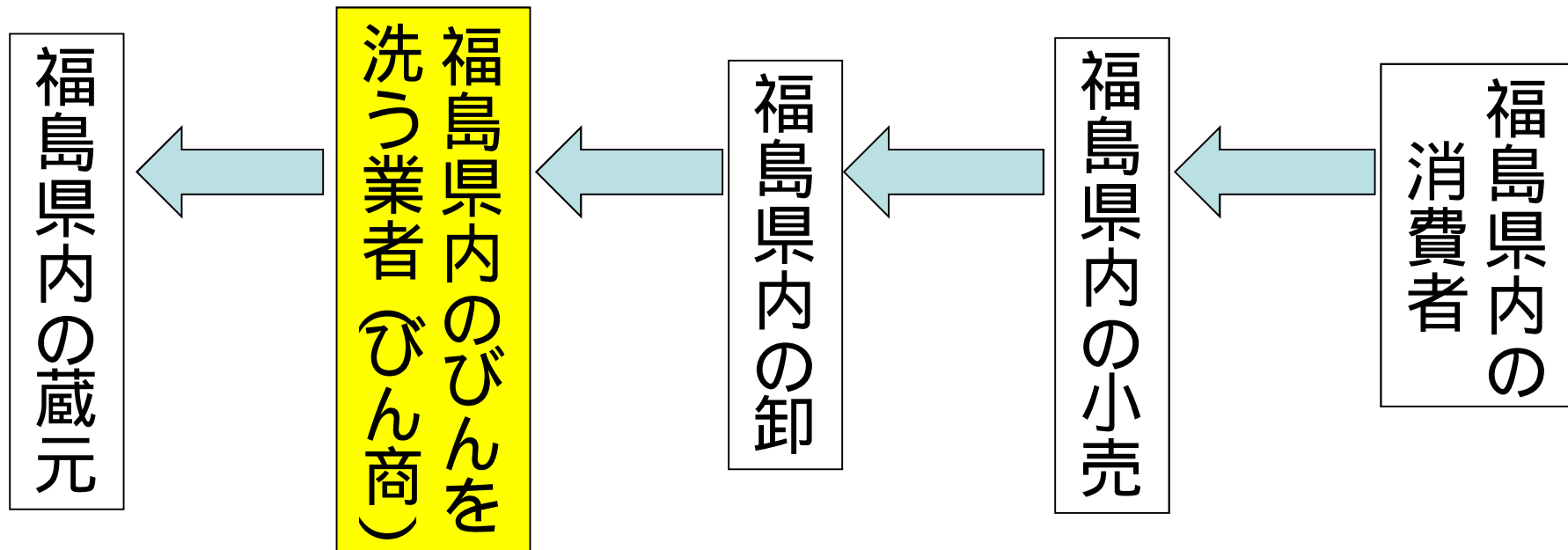
- びんを使用している飲料として、日本酒を考える
- 福島県では、福島県内の卸・小売が、流通・回収を担っている割合が大きい



卸・小売の段階で、東京等に拠点のある配送センターが管理している割合が他地域に比して小さい。

いろいろと考えていくベースになりやすい。

## 2.2. 福島県の静脈側の例（一升びん）



- 福島県内の卸・小売が、流通を担っていると、この回収ルートを作りやすい。  
このルートは破びんの割合小と考えられる。
- 近年、720ml入りびんが増加。今後も増加が見込まれる。
- しかし、このルートは720ml入りびんではほぼ見られない。

## 2.3. 福島県郡山市

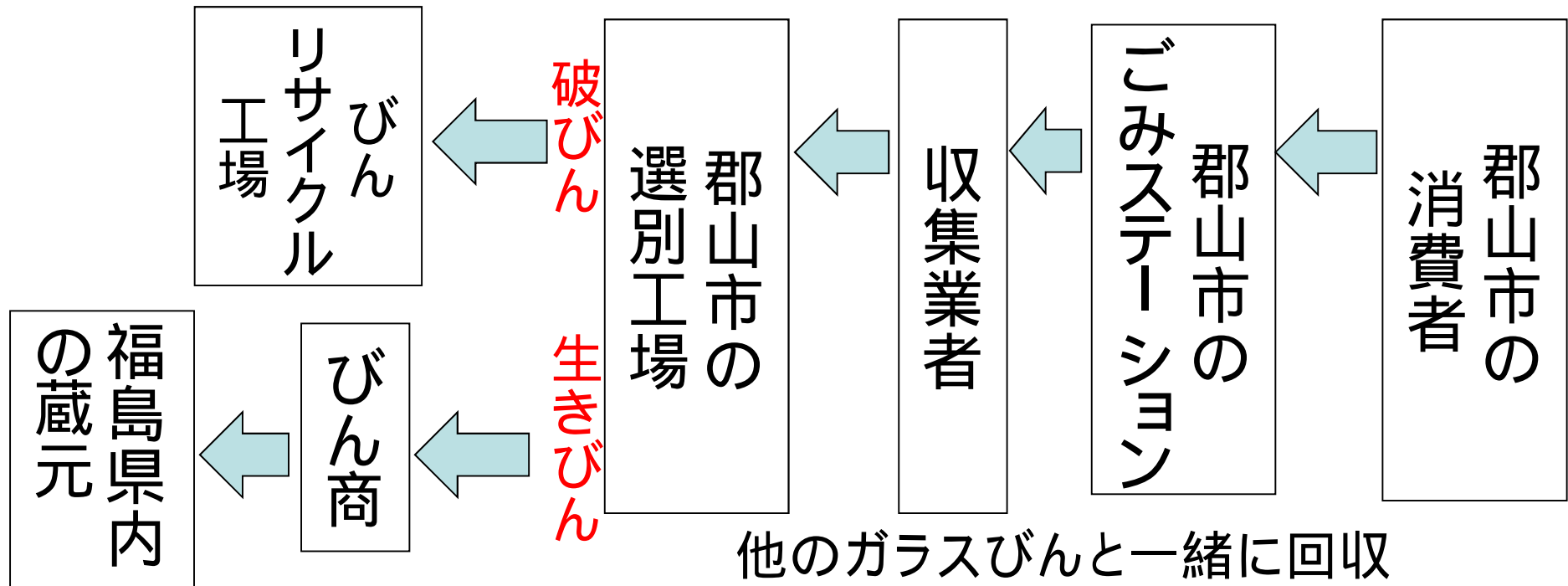
- 人口：約30万人(2011年3月1日時点で338918人)  
全国に同等の規模の都市が多い  
全国モデルになりうる
- 福島県の経済の中心都市  
福島県全域への波及効果大

このため、福島県郡山市に着目



## 2.4. 2011年11月13日までの 郡山市の静脈側の例 (720ml びん)

- 小売・卸を伝っていくルートは、なし。
- 基本的に使用済みの720ml びん すべて



びん商が回収するのは、割れていないびん(生きびん)で、Rマークがついているびん  
郡山市の選別工場は、このびんを手選別で抜き取り、びん商に渡す

## 2.5. R720ml びん



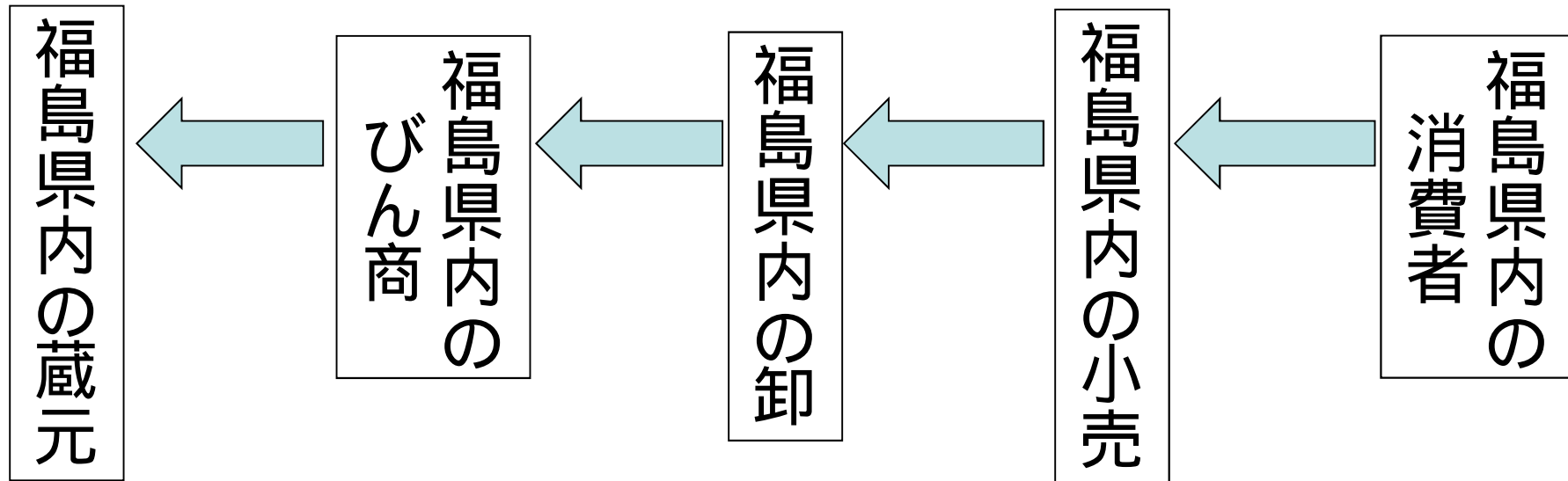
## 2.6. Rびんの特徴例

- びんの形状が統一  
びんを洗う機械での洗い残しを避けられる。

## 2.7. 現行のR720mlびんの課題例

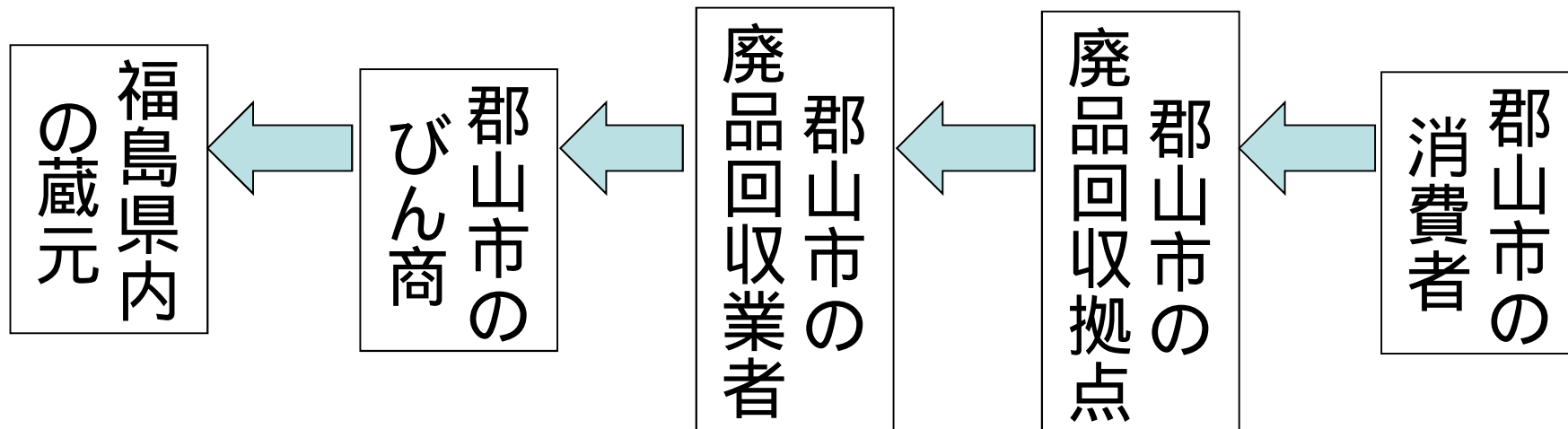
- 郡山市では、ごみステーションを通じるルートが主。  
このルートは、小売・卸を通じるルートよりも、回収したびんに占める破びんの割合が大きいと考えられる。
- Rびんの存在を、消費者は、ほぼ認知していない模様

## 2.8. 2011年11月14日以降に新たに加わる 福島県の静脈側の例1 (R720ml びん)



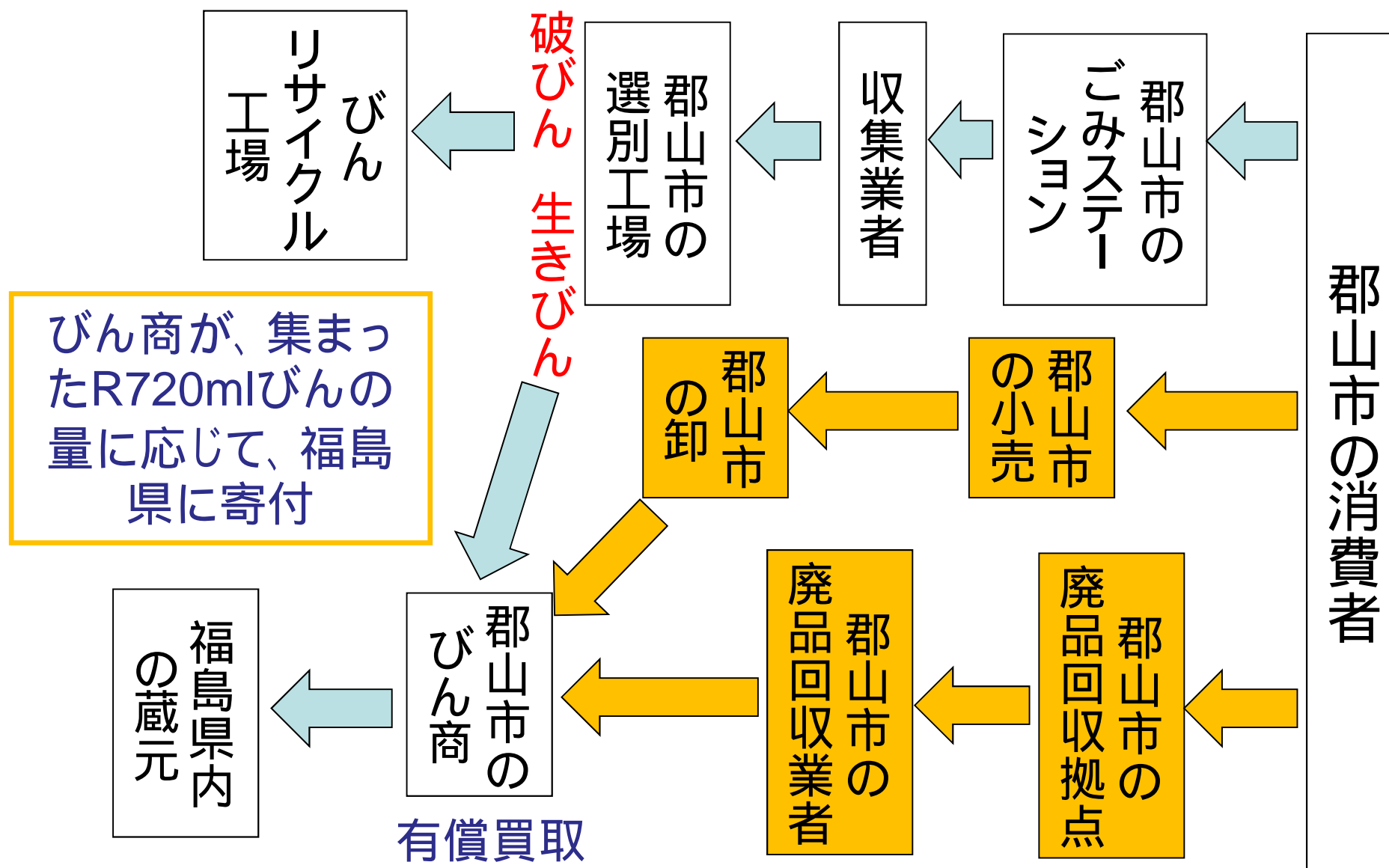
- このルートでは一升びんの回収を既におこなっている小売では、同様のルートで回収  
cf. このルートは、福島県内で協力して頂ける小売・卸全てで実施。

## 2.9. 2011年11月14日以降に新たに加わる 郡山市の静脈側の例2 (R720ml びん)



- このルートは、今のところ、郡山市内のみ  
(福島県内全域への可能性については今後の課題)

## 2.10. 「郡山モデル」とは - 静脈側 -



黄色のところは新たに加わったルート

## 2.11. 寄付について

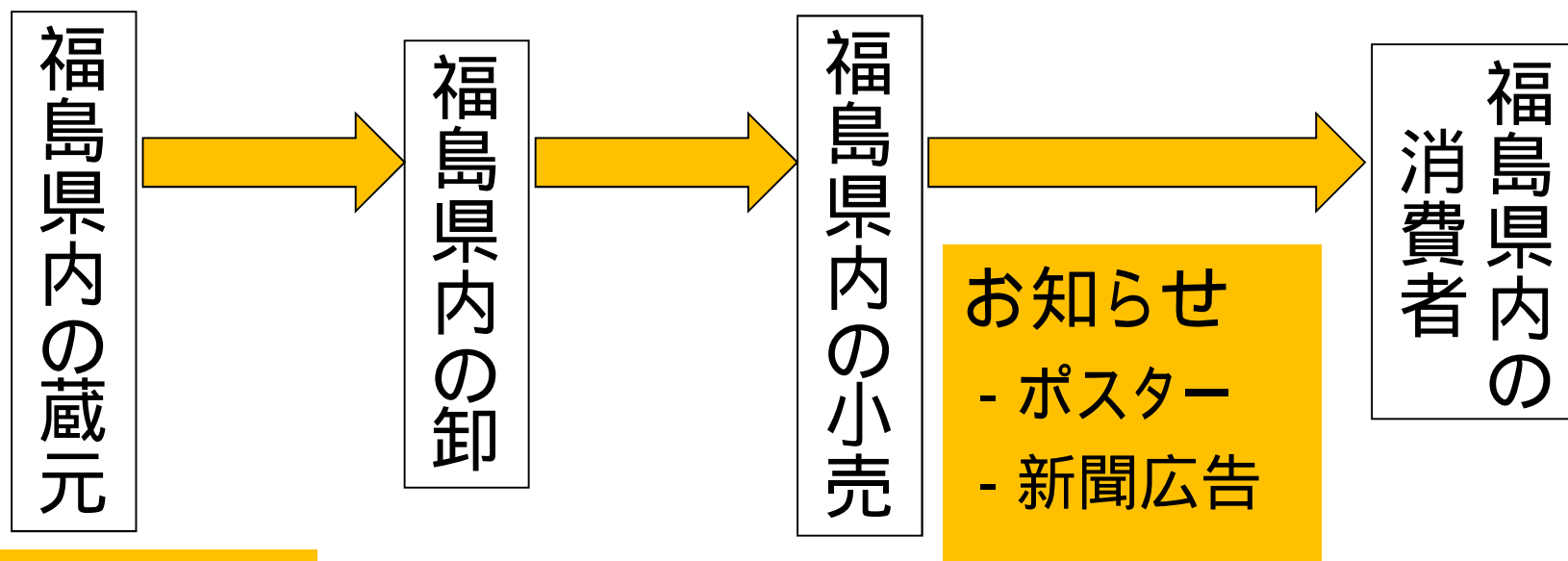
- 2011年10月26日の「我が国におけるびんリユースの在り方に関する検討会」の資料1:

「我が国におけるびんリユースシステムの在り方に関する検討会取りまとめ(案)」p12

「一般家庭からの使用済みのびんについては、一般消費者に対し使用済みびんの回収に協力する効果的なインセンティブを提供できるかどうか<sup>1</sup>が重要となる。例えば、使用済みびんの回収量に応じて一定額の寄付が行われる仕組みの構築、リユースしているびんであることを一般消費者に示すマークをリユースびんに付加すること等が対策として考えられる。」

- 「郡山モデル」では、
  - は、「びん商が、集まったR720mlびんの量に応じて、福島県に寄付」が対応
  - cf. は、Rマークがついていることが対応

## 2.12. 「郡山モデル」とは - 動脈側 -



R720mlびん  
採用のお願い  
(R720mlびん  
の採用蔵元  
を増やす)

黄色矢印の部分が増加  
黄色の部分新たに実施



## 2.13. ポスター

Rマーク付720mlガラスびん



このびんを使った商品をお買い求めください。

このびんは回収します。  
販売店に返却するか  
集団資源回収に出してください。

**環境省支援事業**  
郡山市容器リユース実証事業は、環境省のびんリユースシステム構築に向けた実証事業に認定されました。

**東日本大震災復興支援**  
皆様から回収したR720びんの売却代金の一部を、東日本大震災復興に寄付いたします。



©私たちが応援しています 環境省/福島県/郡山市/福島県消費者団体連絡協議会/福島県酒造協同組合/福島県知事酒造組合/福島県小売酒販組合連合会/福島県生活協同組合連合会/福島県再生資源商工組合/日本リユースびん普及協会/ガラスびんリサイクル促進協議会/びんリユース推進全国協議会/日本P&G販売協議会/全国びん商連合会/東北びん商連合会

郡山市容器リユース推進協議会  
福島県郡山市世川1-141 福島容器(株)内  
☎ 024-945-1945

- ・ ポスターの内容：
  - 「R720ml びんを購入してください。」
  - 「使用済みR720mlびんを返却してください。」
- ・ 10000枚をさしあたり印刷
- ・ 2011年11月初旬から、小売酒販組合、卸売酒販組合等を通じて、各小売等に配布。届き次第、小売の店頭等に掲示頂くように依頼

## 2.14. 新聞広告

Rマーク付720mlガラスびん



このびんを使った  
商品をお買い求め  
ください。

このびんは回収します。  
販売店に返却するか  
集団資源回収に出してください。

**環境省支援事業**  
郡山市容器リユース実証事業は、環境省の  
びんリユースシステム構築に向けた実証事業に  
認定されました。

**東日本大震災復興支援**  
皆様から回収したR720びんの売却代金の  
一部を、東日本大震災復興に寄付いたします。

**びんリユース推進シンポジウムを開催いたします。**  
日 時：平成23年11月14日(月) / 13:30~16:30  
場 所：郡山ビューホテル アネックス  
主 催：環境省

〇私たちが応援しています 環境省/福島県/郡山市/福島県消費者団体連絡協議会/福島県酒造協同組合/福島県卸売酒販  
組合/福島県小売酒販組合連合会/福島県生活協同組合連合会/福島県再生資源商工組合/ガラ  
スびんリサイクル促進協議会/びんリユース推進全国協議会/日本P箱レンタル協議会/全国びん商  
連合会/東北びん商連合会

**郡山市容器リユース推進協議会**  
福島県郡山市野川1-141 福島容器(株)内  
☎ 024-945-1945

**日本リユースびん普及協会**  
新潟県長岡市高見町339 (株)日本容器工業 長岡事業所内  
☎ 0258-24-4400

- ・ 2011年11月11日に、  
福島民報新聞、  
福島民友新聞に、  
一面広告で掲載
- 環境省の「平成23年度  
びんリユースシステム構築  
に向けた実証事業」に  
採択頂きました

## 2.15. 郡山市容器リユース推進協議会とは

- 設立趣旨：
  - …… 郡山市のごみ減量、温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減に貢献する。
  - …… 「環境都市郡山」を創造する。
  - …… 郡山市の環境街づくりに貢献する。
  - 震災復興に貢献する。  
あくまでもパブリックな協議会
- 2010年11月に発足
  - これまでに準備会、事務局会議、推進協議会を複数回実施。
- 福島県，郡山市，環境省の後援も頂いている。

## 2.16. 推進協議会のメンバーの構成 (一部抜粋、敬称略)

### < 動脈側 >

- 蔵元：山口 恭司 (郡山酒造協同組合 睦会会長) ほか
- 卸：今泉 浩之 (福島県南酒販 (株) 取締役営業本部長) ほか
- 小売：本田 剛一 (郡山市小売酒販組合理事長) ほか

### < 静脈側 >

- びん商：伊藤 明人 (福島容器 (株) 代表取締役) ほか
- P箱：中村 潤 ((株) フーズコンテナ 営業部長) ほか
- 廃品回収業者：影山 敏宏 (福島県再生資源商工組合郡山支部長)
- 行政：滝沢 俊一 (郡山市役所生活環境部)

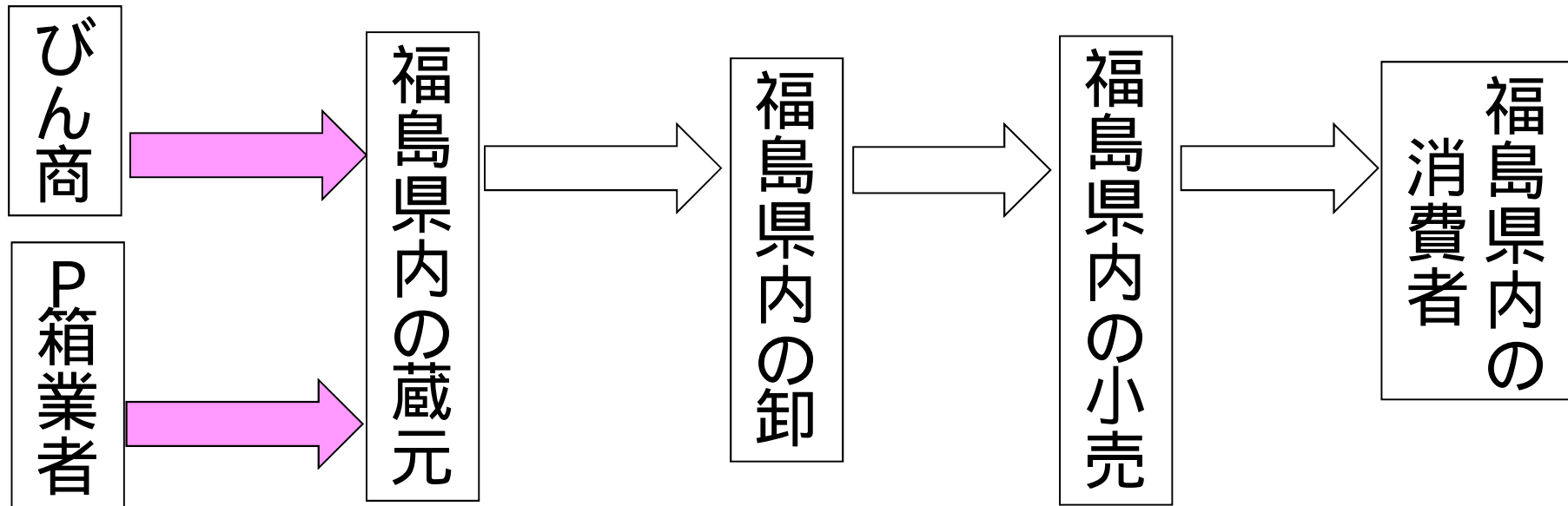
### < その他 >

- 消費者団体：星 サイ子 (福島県消費者団体連絡協議会 会長)
- 事務局：小沢 一郎 (容器リユースを普及させるための検討会)
- 座長、学識経験者：沼田 大輔 (福島大学経済経営学類准教授)

## 3.1. 評価

- 流通量・回収量の変化を見る
    - 販売価格も見ながら
  - 流通量の変化の要因を探る
    - 消費者向けアンケートを用いて
- cf. 回収量の変化の要因については、  
アンケートの紙面の関係で、今後の課題

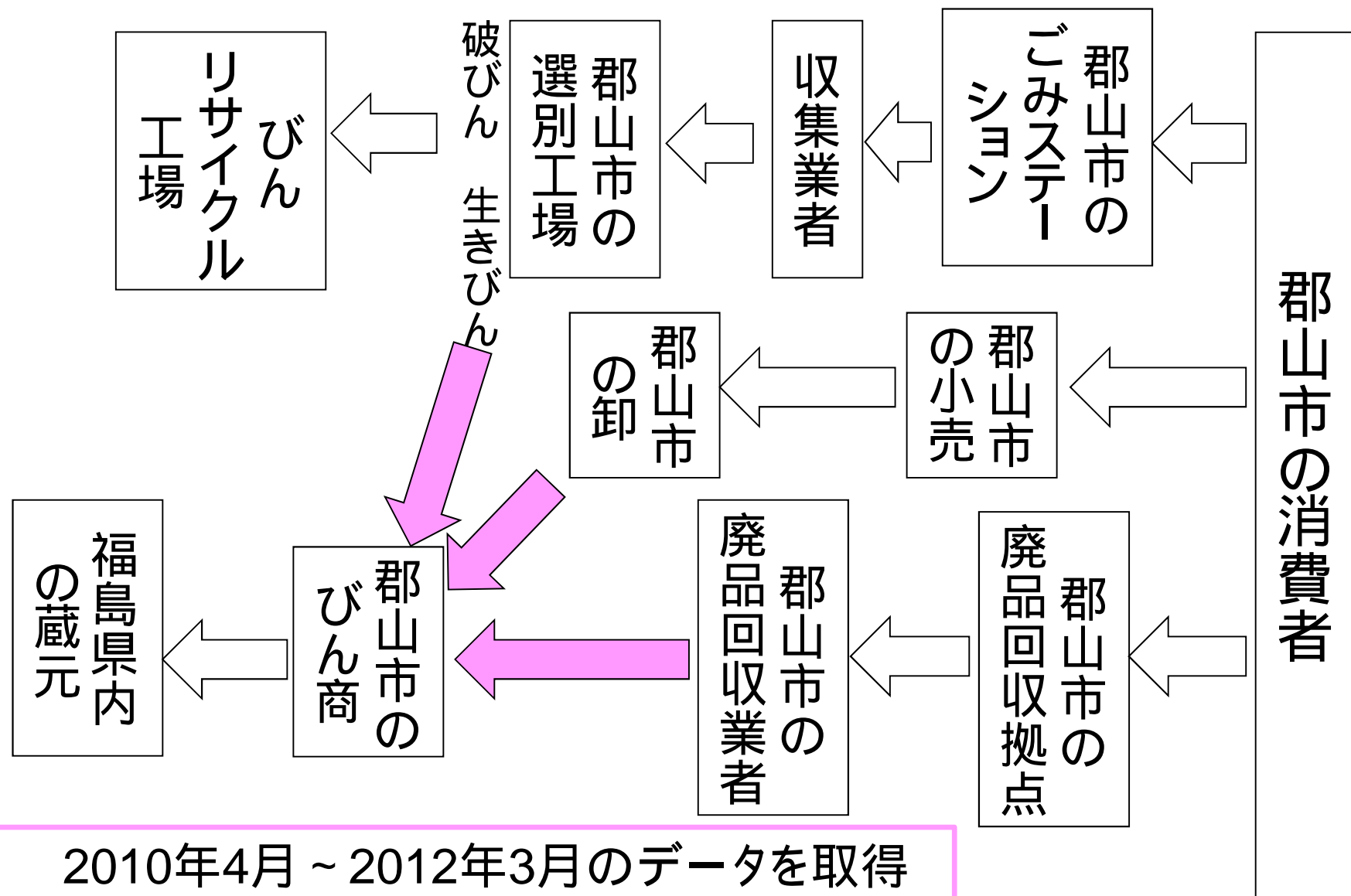
## 3.2. 評価 - 流通量の変化を見る -



ピンク色の部分をデータで検討  
(データがとれそうな部分)

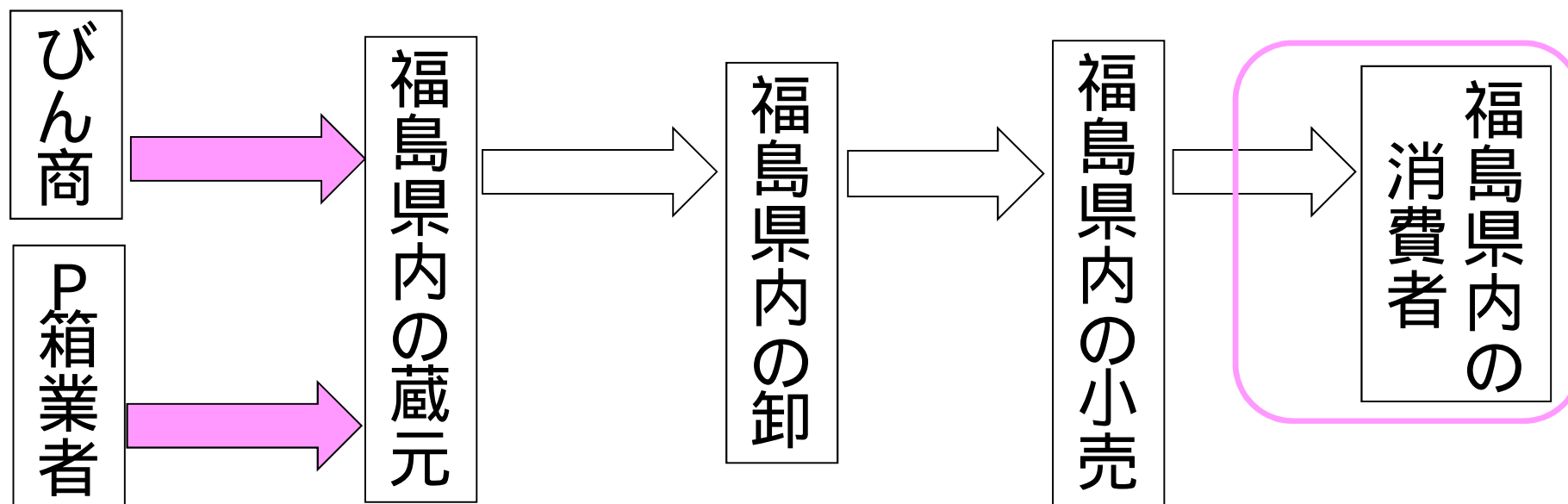
2010年4月～2012年3月のデータを取得  
2011年11月14日の、以前と以後で比較

### 3.3. 評価 - 回収量の変化を見る -



2010年4月～2012年3月のデータを取得  
2011年11月14日の、以前と以後で比較。

### 3.4. 評価 - 流通量の変化の要因を探る -



消費者が欲しいものを小売、卸、蔵元は扱うと考えられるので、消費者のR720ml入り日本酒の購入要因を探る。

さしあたり、福島県郡山市で。

日本酒そのものの需要の減少も考えられるが、その要因の詳細な検討は今後の課題。ある小売のデータで、アルコール飲料内での代替関係の有無を確認



## 4. まとめ

- 郡山モデルは、
  - 福島県、特に郡山市の、720ml 入り日本酒の入った Rマーク付きびんを考える。
  - これまでのごみステーションを通じるルートに加えて、
    - 小売・卸を通じるルート
    - 廃品回収業者を通じるルートも行い、
    - びん商に集まったR720mlびんの量に応じて、
    - 震災復興のために福島県に寄付する。
  - 使用済みR720ml びんの返却および購入を呼び掛ける
    - ポスターを掲示
    - 新聞広告を実施
  - 流通・回収量の変化を見て、  
その要因を、消費者向けアンケート等から探る。